

資料
令和5年3月15日(水)
住民説明会

鹿野観光交流拠点施設機能検討報告書

～鹿野ならではの観光「まるごと図鑑になるまち・かの」～

- (1) 鹿野地域における周南市の観光事業 1
- (2) 鹿野地域観光振興プランで提案された機能 3
- (3) 検討会議や皆さまからいただいたご意見、ご提案 4
- (4) 「鹿野観光交流拠点施設」の方向性 5
- (5) 今後のスケジュール 6

令和5年3月

鹿野観光交流拠点施設整備構想策定検討会議

(1)鹿野地域における周南市の観光事業

○周南市観光ビジョン

基本理念：「人と自然と産業が輝きを魅せる 賑わいあふれる おもてなしのまち周南」

◆ 3つの重点推進施策

(1)「日常をときほぐす観光」事業の展開

- 交流人口拡大による地域経済の循環化及び活性化
- 観光という視点で持続可能な中山間地域づくりを目指す

- ・目的：関係人口の拡大・地域経済の循環及び拡大・地域への愛着や誇りの醸成
- ・対象：市民や近隣市町からの来訪者。
市出身者や市と関わりのある人(関係人口 100 万人ネットワーク)

(2)まちなか観光の展開

(3)夜型観光の展開

○「鹿野地域観光振興プラン」の作成(令和4年3月策定)

- ・計画の位置付け：「日常をときほぐす観光」の鹿野バージョン
- ・基本コンセプト：「まるごと図鑑になるまち・かの」



■「鹿野地域観光振興プラン」の具体的な取り組み

ソフト事業

- 「日常をときほぐす観光」事業の推進
 - ・地域資源、コンテンツの研究、整理、掘り起こし
 - ・Web サイトやQR コードの活用、充実
 - ・体験型観光の推進など

ハード事業

- 観光スポットやルートの整備。既存観光施設との連携。景観・環境への配慮

○観光交流拠点の整備

目的：観光の視点から「交流人口」の拡大が見込める施設を検討するため、

拠点整備に必要な施設の機能等の具体化、絞込み・建設規模・施設デザイン等の検討

R4年度：「鹿野観光交流拠点施設整備構想策定検討会議」の設置⇒全6回の会議を実施(R4年9月～R5年2月)

【交流施設が目指す共通のイメージ】

- ◆「訪れてよかった」という訪問者の高い満足度に結びつくこと
- ◆地域の人たちが地域への愛着や誇りの醸成の場となること



(2) 「鹿野地域観光振興プラン」策定時に提案された機能(研究検討事項含む)

観光情報や休憩、飲食などに加え、訪問者と地域の人たちの交流や地域を「語り合い学びあう場」などの設備、「ワーケーション」や「サテライトオフィス」としてのスペースの確保、チャレンジショップの併設などの機能が挙げられています

- 観光情報機能
- いこいの場所（公園、くつろぎのスペース）
- 休憩飲食機能
- 地域住民や団体、来訪者の交流機能
- 地域に関する研究、学習機会の提供機能
- チャレンジショップ機能（女性や若者の起業支援）
- 2次交通のステーション機能
- テレワーク、コワーキングスペースとしての利用 など



【考えられる効果】

- ・交流人口の拡大や経済の循環
- ・地域製品の消費拡大や、鹿野ブランドの認知
- ・地域への愛着や思い出作りの場の醸成
- ・雇用の創出や移住定住の促進など



(3)検討会議や皆さまからいただいたご意見、ご提案

交流拠点施設として整備

【外 装】

- ・鹿野産の木材を使った建物
- ・周辺と調和したデザインの建物
- ・癒しの建物

[考えられる効果]

- ➡ 地元の産業の活性化に繋がる、技術の伝承に好影響
- ➡ 植栽などを行い周辺施設との一体感を持たせ、地域への愛着や誇りを醸成
- ➡ 地域への愛着や誇りを醸成

【内 装】

- ・多目的に活用できる室内

[考えられる効果]

- ➡ 地域と来訪者との交流

【全体に関する機能】

- ・ファミリー層に向けた施設
- ・キッズスペース
- ・物品販売
- ・駐車スペース

[考えられる効果]

- ➡ 家族で楽しめる機能を保持、経済の循環
- ➡ 家族で楽しめる機能を保持、経済の循環
- ➡ 地域製品の消費拡大や、鹿野ブランドの認知
- ➡ 駐車スペースを確保することで周辺の交通渋滞を緩和

【その他】

- ・脱炭素化に向けた取り組み
- ・多言語への対応

・バリアフリー化

・ネット環境の整備（フリーWi-Fi）

・快適なトイレの充実

交流広場として整備

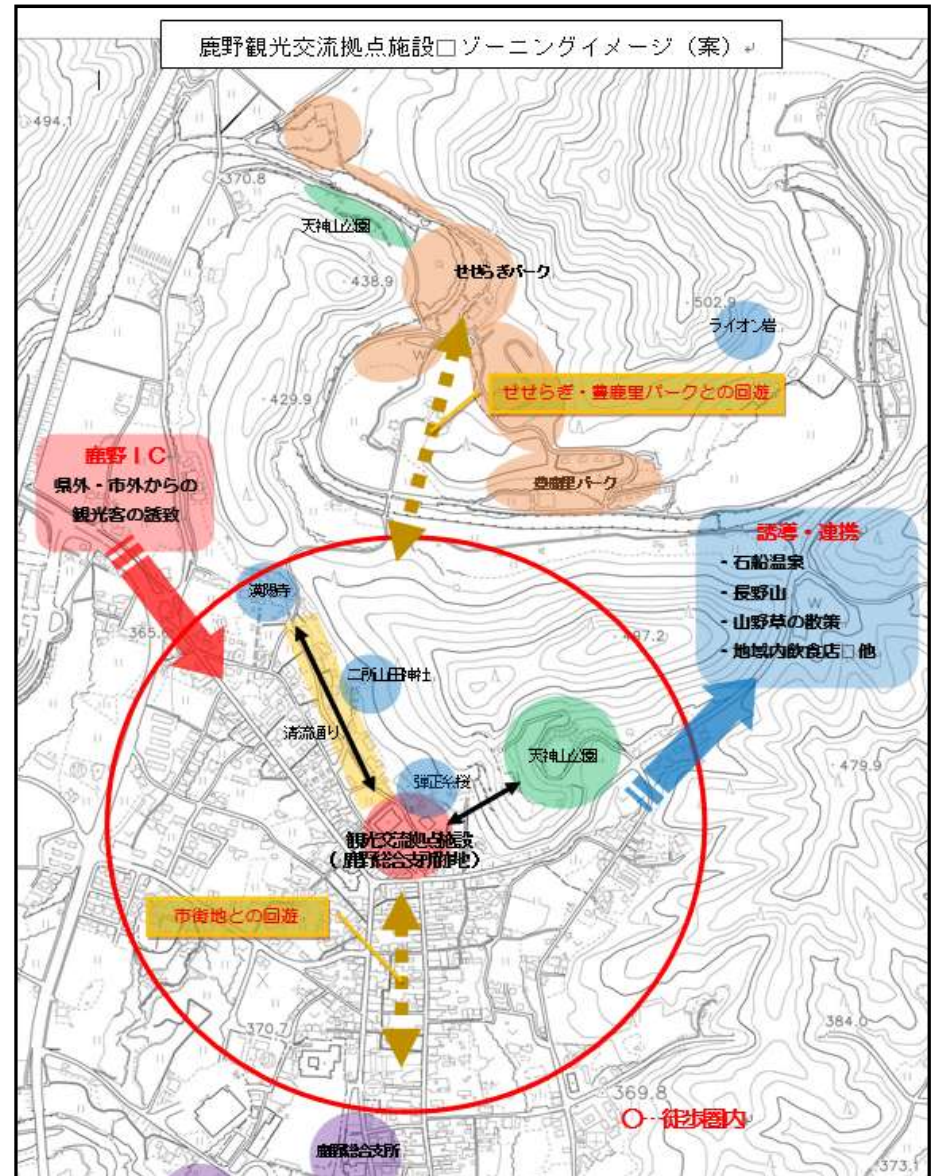
- ・日除け屋根程度のみでの整備
- ・屋根付き広場として整備し、天候を気にせず、幅広い世代が来訪可能
- ・水に特化した癒しのスペースとして整備

(4) 「鹿野観光交流拠点施設」の方向性 ～「まるごと図鑑になるまち・かの」の実現～

◎基本的な考え方

現在の鹿野総合支所の跡地が「日常をときほぐす観光」の拠点となります。

「まるごと図鑑になるまち・かの」を体感し、楽しんでいただくために、拠点にはさまざまな情報が集まり、訪れた人それぞれの目的に応じた回遊の起点となる仕組みづくりや、鹿野ならではの地域資源を活用することが必要だと考えます。



(5)今後のスケジュール

◎周辺施設との一体整備へ

令和10年度の供用開始に向け、市と地域が一つとなり「鹿野地域観光振興プラン」の具現化を図っていきます。

◎スケジュール(予定)

以下のスケジュールにて説明会を実施予定

- ・令和5年3月 …第1回説明会〔これまでの検討結果の提示〕
- ・令和5年7月 …第2回説明会〔交流拠点の素案の提示〕
- ・令和5年9月 …最終案策定
- ・令和6-7年 …設 計
- ・令和8-9年 …整 備
- ・令和10年度 …供 用 開 始

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
現総合支所解体、造成				解体 ←→	造成 ←→		
観光交流拠点整備	機能の検討 →		設計 ←→		整備 ←→		供用開始 →
日常をときほぐす観光の推進	→						
鹿野総合支所 (現鹿野公民館)	解体 造成 ←→	整備 ←→		供用開始 →			



鹿野観光交流拠点についてのお問い合わせ

周南市観光交流課

〒745-8655 周南市岐山通 1-1 ☎ 2 2 - 8 3 7 2

✉ kanko@city.shunan.lg.jp

鹿野総合支所地域政策課

〒745-0302 周南市大字鹿野上 3277 ☎ 6 8 - 2 3 3 1

✉ ka-chiiki@city.shunan.lg.jp